本　校　の　沿　革

昭和 25 年 5 月　本学院の創設者濱名ミサヲ先生は、太平洋戦争で尼崎市域一帯が焦土と化す中で、自宅も全焼するという戦災を被ったが、戦後、世相が混乱して生活物資にも事欠く一方、市の財政事情も極度に逼迫する時期に、尼崎市連合婦人会会長とともに市教育審議会委員の要職にあったところ、関係多方面から私立幼稚園設立について強い要請を受けることとなった。先生は、かねてから抱いていた「戦後の復興はまず“人づくり”である教育、特に幼児教育にある」という固い信念から、苦境にありながらも情熱を鼓舞して、資産を処分して幼稚園建設に踏み切った。

先生は、設立に当たって「以愛為園」即ち「愛を以て園と為す」の精神のとおり、愛情こそ教育の基本であり、保育の原点であることを示された。先生は、人の心を受け入れる姿勢と思いやりの精神が人格形成の基礎を培う幼児教育の根本精神であり、建学の精神として最もふさわしいと考えられて新しい幼稚園を「愛の園幼稚園」と命名、自ら園長となって幼稚園教育に専念するため、連合婦人会会長を辞し、陣頭にたって幼児教育に没頭することとなった。

昭和 28 年 6 月　文部大臣の許可を得て、本校の前身である尼崎幼稚園教員養成所を愛の園幼稚園に設置

昭和 30 年 12 月　愛の園幼稚園および教員養成所を学校法人濱名学院に組織変更

昭和 32 年 3 月　尼崎幼稚園教員養成所を関西女学院と改称。文部大臣より幼稚園教員養成機関の指定

昭和 32 年 10 月　学校法人濱名学院に保母養成所を設置、厚生大臣より保母養成施設としての指定

昭和 44 年 4 月　関西女学院校舎を現在地に新築移転

昭和 51 年 4 月　新しく発足した専修学校制度にともない保母養成所を吸収関西女学院保育専門学校の認可

昭和 56 年 4 月　男性保育者の進出を受け入れるため校名を関西保育専門学校に変更

昭和 57 年 11 月　前校長逝去のため濱名弘子校長が就任

昭和 58 年 10 月　社会福祉専門課程の設置について兵庫県知事より認可

昭和 59 年 4 月	社会福祉専門課程社会福祉科開設
昭和 60 年 3 月	厚生大臣より社会福祉主事養成機関としての指定
昭和 60 年 10 月	新校舎[西館]増設
昭和 61 年 3 月	文部大臣及び厚生大臣より保育専門課程保育科障害児保育コース設置について認可
昭和 61 年 4 月	保育科障害児保育コース開設、児童文化科開設
昭和 62 年 4 月	姉妹校である関西女学院短期大学が兵庫県三木市に開学
昭和 63 年 3 月	保育科Ⅱ部を廃止 厚生大臣より社会福祉専門課程介護福祉科が介護福祉士養成施設として認可
昭和 63 年 4 月	介護福祉科開設
平成元年 3 月	新校舎[東館]増設、児童文化科募集停止
平成元年 4 月	校名を関西保育福祉専門学校に変更
平成 3 年 3 月	保育専門課程保育科コース制廃止
平成 5 年 4 月	介護福祉科定員を 80 名に増員
平成 7 年 1 月	保育科、社会福祉科、介護福祉科の卒業生に「専門士」の称号付与が認可
平成 10 年 4 月	姉妹校 関西国際大学(経営学部)開学。併せて姉妹校 関西女学院短期大学を関西国際大学短期大学部と改称
平成 11 年 11 月	創立 45 周年記念行事実施
平成 15 年 11 月	創立 50 周年記念行事実施
平成 17 年 4 月	社会福祉科定員を 40 名に減員
平成 18 年 4 月	濱名弘子校長が退任し、名誉校長に就任
平成 18 年 4 月	第３代校長に羽白逸生副校長が就任
平成 19 年 4 月	介護福祉科定員を 60 名に減員
平成 20 年 4 月	保育科定員を 140 名に増員
平成 21 年 3 月	社会福祉科を廃止
平成 21 年 4 月	介護福祉科定員を 40 名に減員
平成 21 年 4 月	姉妹校である関西国際大学の尼崎キャンパス開設(教育学部移転)
平成 23 年 3 月	羽白逸生校長が退任
平成 23 年 4 月	第４代校長に和泉喜久男校長が就任
平成 25 年 10 月	創立 60 周年記念行事実施
平成 26 年 3 月	保育科、介護福祉科が職業実践専門課程として文部科学大臣より認定